

ふれあい親子釣り教室



8月26日、神戸市の平磯海づり公園で、兵庫県釣針協同組合主催の『ふれあい親子釣り教室・海釣り大会』が開催されました。今年の大会は、例年と比べ釣果好調。アジやベラなどがたくさん釣れ、参加した親子連れは大喜びでした。なお、大会結果は次のとおりです。

優勝 岩谷志緒さん
(氷上中央小5年(丹波市)・フグ23.5cm)
準優勝 臼井蒼人さん
(社小2年・グレ23.3cm)
第3位 山本浩大さん
(東条東小3年・グレ20.0cm)



下水道の日



9月10日、やしろショッピングパークBio2階多目的ホールで、下水道についての理解を深めるイベントを開催しました。会場では、トイレットペーパーを水に溶かす実験や、下水道管の破損箇所を調べるロボットの操縦体験、下水道工事の無料相談などを実施。調査ロボットを操縦した東条西小4年の近藤陽登さん

は「ロボットのカメラは、すごくアップに映せて、壊れたところもよくわかりそうでした」と感心しきりでした。

ご長寿 おめでとうございます



今年、88歳を迎えられた丸山哲子さん(上滝野・写真前列左)に、県連合婦人会からお祝い贈られました。婦人会の現役会員である丸山さんは、婦人会主催の講演会への参加など、精力的な団体活動を続けておられます。これからも元気で過ごしてください。

第36回 北播少年親善野球夏季大会



第3位
県大会出場

米田少年
野球クラブ

念願の高校総体に出場



小野高校2年で水泳部に所属している吉田尚悟さん(上滝野)が、8月17日から20日にかけて開催された平成29年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(宮城県)の競泳1,500m男子自由形に出場されました。

5歳から地元の水泳教室に通い始めた吉田さん。高校総体を目標に、部活動と並行してスポーツクラブ通いを続け、初出場を勝ち取りました。吉田さんは「これからは、勉強が忙しくなるだろうと思いますが、悔いのない競技生活を送ります」と話していました。

海外支援団体『いろは』活動中



加東市や小野市などの有志が立ち上げた海外支援団体『いろは』。メンバーは、普段、エステサロン経営やセルフまつ毛エクステインストラクターなど、それぞれの仕事をしながら、海外で作られた衣料品や小物を販売。売り上げを寄付することで海外支援をしています。9月5日には、カンボジアで孤児院を運営する森絵美子さん(箕面市)に、同団体の幹事を務める上月由美さん(東古瀬)やメンバーの島村有香さん(家原)らが寄附金35万円を手渡しました。

同団体は、活動への参加者も随時募集中とのことです。関心を持たれた方は、上月さん(☎090-4288-7976)まで。

サッカーで国際交流



8月24日から27日まで、台湾の少年サッカーチーム『莒光國民小學』が加東市を訪れ、市内外の少年サッカーチームと親睦を深めました。

25日は、北播衛生グラウンド(西古瀬)で、社フットボールクラブジュニアと対戦。試合前は、記念品を交換し、はにかみながらお礼を言いうなど、和やかな雰囲気には包まれていましたが、試合が始まると一変。真剣な表情でボールを奪い合いました。結果は、莒光國民小學の勝利。力を尽くして戦った選手らの顔には、より打ち解けた、さわやかな笑顔が浮かんでいました。(表紙にも写真)

中学生がまちづくりに提案



8月10日、市内の4中学校の生徒が、まちづくりや教育環境について、市長に直接提案する『中学生によるかとう未来フォーラム』を開催しました。4中学校からは、代表として生徒会のメンバー14人が参加。生徒らは、高校への通学用バス導入や、通学時の道路渋滞解消といった交通についての提案のほか、まちのにぎわいづくり、学校の環境整備などについて、次々に提案しました。安田市長は提案

を受け「まちづくりの第一は、市民の安全と安心。交通の安全確保や道路整備などに、最優先で取り組みます」と回答しました。

4中学校で定めている『SNSルール5か条』の広報かとう・ケーブルテレビによるPRを提案した社中学校3年の松本侃樹さんは「市長と直接話すのは初めてでしたが、わかってもらえてよかったです。提案が現実になればうれしいです」と話していました。

SNSルール5か条は、広報かとう9月号に掲載しており、今後も随時掲載します。ケーブルテレビでのCMも、撮影が終わり次第放送を開始します。

過ぎゆく夏 踊って見送る



8月26日、社中央公園ステラパークで『加東市夏のおどり』が開催されました。会場は、昨年を1,000人上回る4,000人もの来場者で、大賑わいでした。

加東市に住む祖父に誘われて参加した上谷彩夏さん(西宮市・山口小2年)は「たくさんの人と一緒に踊れて、とても楽しかったです」と話していました。

110kmハイキング敢行!



滝野地域のボーイスカウト・加東第5団の小学6年から高校1年までの12人が、加東市から京都府宮津市までの110kmを歩くハイキングに挑戦しました。この行事は、同団で30年以上前から続く、4年に一度の恒例行事です。12人は、8月11日にさんあいセンターを出発。国道175号・176号を辿りながら野宿し、3日をかけて、宮津市・島陰海水浴場まで、全員無事に歩き切りました。

参加した滝野東小6年の大久保駿さんは「暑さや、野宿での蚊など、大変なことばかりだったけど、4年後には、また参加したいと思います」と笑顔でした。

だし 出汁の神髄 伝授します



9月7日、やしろショッピングパークBio2階のキッチンスペースで『昆布とお出汁の教室』を開催しました。

今回の教室は、加東市が進める和食による食育・健康増進の取り組みの一環。講師には、市内で昆布佃煮・煮豆などの和食惣菜を生産している株式会社マルヤナギ小倉屋の方々をお招きしました。

教室は、だしの取り方や、様々な品種の昆布から取れただしの味見、だしを使った料理の試食など、味覚と嗅覚で楽しめる内容で、参加者は、風味を多様に変化させるだしの力に驚いていました。

参加した藤本早苗さん(篠山市)は「昆布の種類やそれぞれに異なるよさを丁寧に教えてもらえて、とてもためになりました。今日得た知識は、家族や友達にも教えます」と喜んでいました。

まちかど
トピックス

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387